

環境マネジメント

環境方針

各部門において、環境にやさしい社会の実現に寄与するよう環境マネジメントシステムを実行し、継続的に改善する

行動指針

1. 環境情報を先取りし、5Sの徹底に努め、汚染予防、建設副産物の適正処理、地球温暖化の防止を推進する
2. 環境関連法令および社内規程を順守した日常の環境活動を実践する
3. 環境保全に関わる技術開発・拡販を推進する
4. 環境教育・啓蒙活動を実施し、持続可能社会の一翼を担う地球環境保全に努め、環境情報を社会に発信する

環境マネジメントシステムの外部審査機関による品質／環境マネジメントシステム (ISO9001／ISO14001) の複合審査が、2018年7月10日～13日に実施されました。

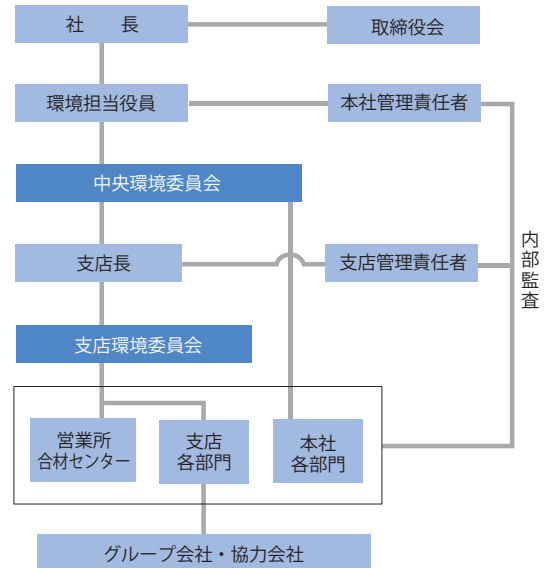
指摘事項は、改善指摘A 0件(従来のX=重大)、改善指摘B 0件(従来のY及びZ=軽微及び修正)、観察事項0件、充実点3件と良好な結果となりました。

今後も継続して監査及び巡回パトロール時に状況を確認していきます。

2017年度に各支店で実施した内部環境監査の事業所あたりの平均指摘件数は、前年度よりやや減少 (0.3→0.2) しており、システムは良好に維持されています。

指摘が多かったのは、「順守評価」、「緊急事態への対応」等となっており、環境法令関連の教育・訓練など、引き続き今後も指導を継続してまいります。

環境マネジメント体系図



環境への取り組み

1) 地球温暖化防止について

2017年度燃料等使用量実績

項目	部門		種別			
			重油	灯油	軽油	電力
主要なエネルギー使用量	製販部門	合材・再生材製造	24,905 kl	48 kl	1,227 kl	4,390万 kwh
	工事部門	工事施工	—	5 kl	1,890 kl	—
	事務部門	オフィス活動	—	142 kl	339 kl	469万 kwh
	計		24,905 kl	195 kl	3,456 kl	4,859万 kwh

2017年度 CO2排出量実績

項目	部門		取組内容	CO2排出量	(参考) 対2010年度比較
CO2排出量	製販部門	合材・再生材製造	燃料使用量削減	79千t	△18.6%
	工事部門	工事施工	燃料使用量削減	42千t	
	事務部門	オフィス活動	全事業所電力量削減	4.2千t	
	計			125.2千t	